

むつ総合病院新病棟建設の背景

むつ総合病院の一般病棟は、建設から45年が経過し、耐震基準を満たしていない。老朽化が著しく、求められる医療環境の変化への対応が難しくなっており、多くの要望が寄せられていることから、病棟建替は喫緊の課題である。

新病棟のコンセプト

- ① 医療環境の変化を見据えた機能の向上
- ② 大災害（自然災害、原子力災害、新興感染症等）対応拠点の整備
- ③ 高度先進医療、がん治療の推進
- ④ 高齢者医療、予防医療、患者・家族支援の推進
- ⑤ 患者・職員満足度の高い環境整備
- ⑥ 金谷公園との一体的な機能の整備



新病棟正面



新病棟北側上空



アメニティモール



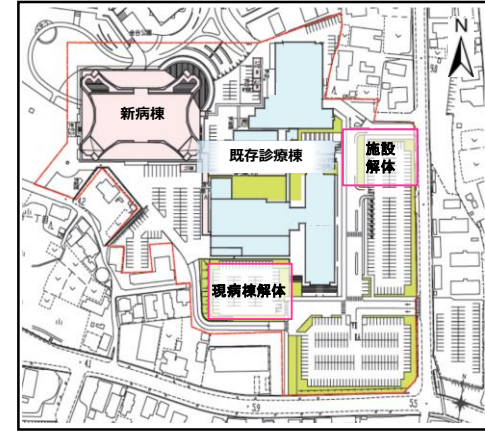
病室(産婦人科)

概算事業費

(令和5年8月 入札公告時点)

工事内訳	合計
建設関連費	233億円
設計・監理費	9億円
建設費	224億円
設備整備費	34億円
医療機器等	34億円
その他	2億円
合計	269億円

配置計画



➤ 令和5年8月 むつ総合病院新病棟建設事業 I 期工事 公告 (新病棟建設 & 既存棟改修)



➤ 令和5年9月 入札参加者が無く、**入札不調**

入札不調の原因

(R5年9~10月 複数の大手建設業者ヒアリング結果)

- 全国的に大型案件の受注が増加し、施工体制の確保が困難
- 半導体工場等の建設のため、数年先まで電気・設備会社の技術者及び労働者の確保が困難
- 遠隔地から労働者を受け入れる宿泊施設が不足

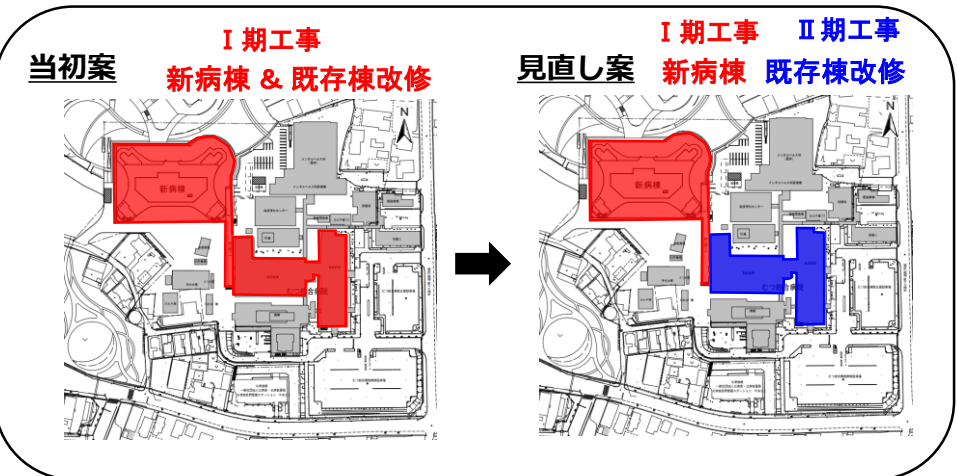
今後の課題

- ✓ 施工体制の確保に十分配慮した**入札スキームづくり**
- ✓ 単価入替などによる**事業費の見直し**

主な対策

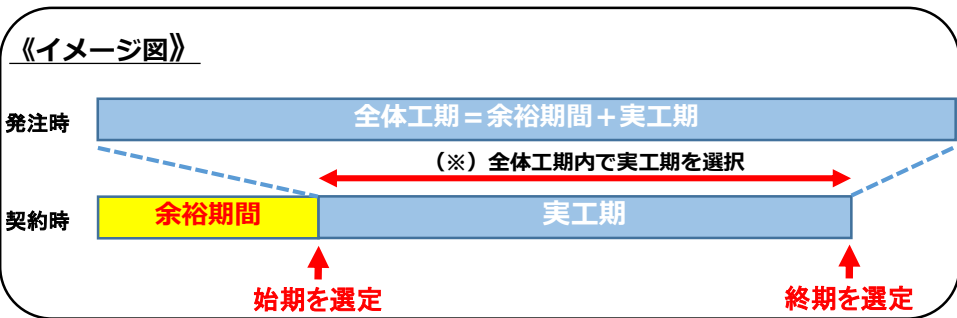
① 工事区分の見直し

➔ 新築と改修を分割発注することで、**監理技術者の拘束期間を短縮**



② 十分な工期の確保

➔ **余裕期間制度**を活用することで数年先までスケジュールが埋まっている事業者を契約時に確保する



③ 最新の実勢を情報収集

➔ 建設事業者に対するサウンディングを実施

④ 現場作業員の宿泊等に係る経費の支援

➔ 労働者確保に係る障害を緩和

⑤ 事業費の見直し

➔ **単価入替など**（物価・労務費の変動に対応した設計図書の作成）
 ※12/25臨時会で単価入替等に要する補正予算（2,500万円）を上程

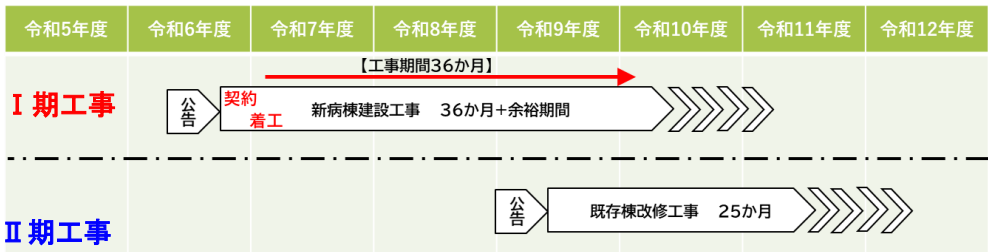
事業スケジュール（見直し案）

- 《見直し内容》
- ① **新築工事・改修工事を分割**
 - ② **余裕期間制度の活用**

当初案



見直し案



※余裕期間の設定により、完成時期が延びる可能性がある